

2022年5月31日
株式会社ディグ・イントゥ

ディグ・イントゥ、電通ジャパンネットワーク参画により 電通デジタルとデジタルマーケティング領域拡張を推進

株式会社ディグ・イントゥ（本社：北海道札幌市 代表取締役社長：宮田 彩也）は、株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 CEO：五十嵐 博、以下同社グループを総称して「電通グループ」）へ、5月13日付で株式を譲渡したことをお知らせします。

これにより、電通グループの国内事業を担う電通ジャパンネットワーク（DJN）^{※1}へ参画し、DJN におけるデジタルマーケティングの中核を担う電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：川上 宗一 以下「電通デジタル」）との連携を強化することで、DJN のデジタルマーケティング領域のさらなるサービス品質向上および対応領域拡張を推進します。

当社は、2018年1月の設立当初より、電通デジタルのデジタル広告運用業務を支援し、事業規模を拡大してきましたが、今後は、電通デジタルとともに業務領域の拡張、運用品質の向上、北海道以外の拠点を含めた地方人財の採用など、連携強化による事業のさらなる拡大を図ることで成長戦略を加速させていきます。

また当社は、社名を6月1日より「株式会社電通デジタルアンカー」へ改称します。この新社名には、デジタルマーケティング業務のバリューチェーンの中でも、エグゼキューションのゴールまでしっかり走り切る、「アンカー（最終走者）」の役割を担う、という想いを込めています。

<今後の具体的なアクション>

電通デジタルとの協業により、両社で主に以下の施策を強化します。

①デジタル広告の運用コンサルティング人財育成を加速

組織の一体運営により、運用型広告のコンサルティング業務を担える人財の育成を加速し、サービス品質のさらなる向上を目指します。

②デジタル広告以外の対応領域を拡大

デジタル広告以外に、LINE 公式アカウント、Twitter、Instagram など、ソーシャルアカウント運用の需要拡大に対応できる体制を確立します。

③デジタルマーケティング需要を受け採用を強化

さらなるデジタルマーケティング領域の運用キャパシティの拡大に向け、人財の採用を強化します。これまで磨いてきたリモート環境での教育・運用ノウハウを活かし、北海道以外の拠点開拓も含めて運用体制を拡充します。

<株式会社ディグ・イントウの概要>

社名：(現社名) 株式会社ディグ・イントウ (英語表記：Dig into Inc.)

(新社名) 株式会社電通デジタルアンカー (英語表記：Dentsu Digital Anchor Inc.)

本社所在地：北海道札幌市中央区南 1 西 2-5 南一条 K ビル 7F

設立：2018 年 1 月

株主構成：株式取得後、株式会社電通グループ 100%

代表者：代表取締役社長 宮田 彩也

従業員数：185 名 (2022 年 5 月時点)

事業内容：デジタルマーケティング領域における運用およびオペレーション業務

URL：<https://www.dentsu-danchor.co.jp/> (6/1 公開予定)

<株式会社電通デジタルアンカーの企業ロゴ>

dentsu digital anchor

※1：電通ジャパンネットワーク (DJN) は、株式会社電通グループの社内カンパニー(本社：東京都港区、社長執行役員 CEO：樽谷 典洋)であると同時に、国内電通グループ約 160 社で構成される企業ネットワークそのものを指します。URL <https://www.japan.dentsu.com/jp/>

以 上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社ディグ・イントウ コーポレート本部 塩澤

Email：info@dentsu-danchor.co.jp